



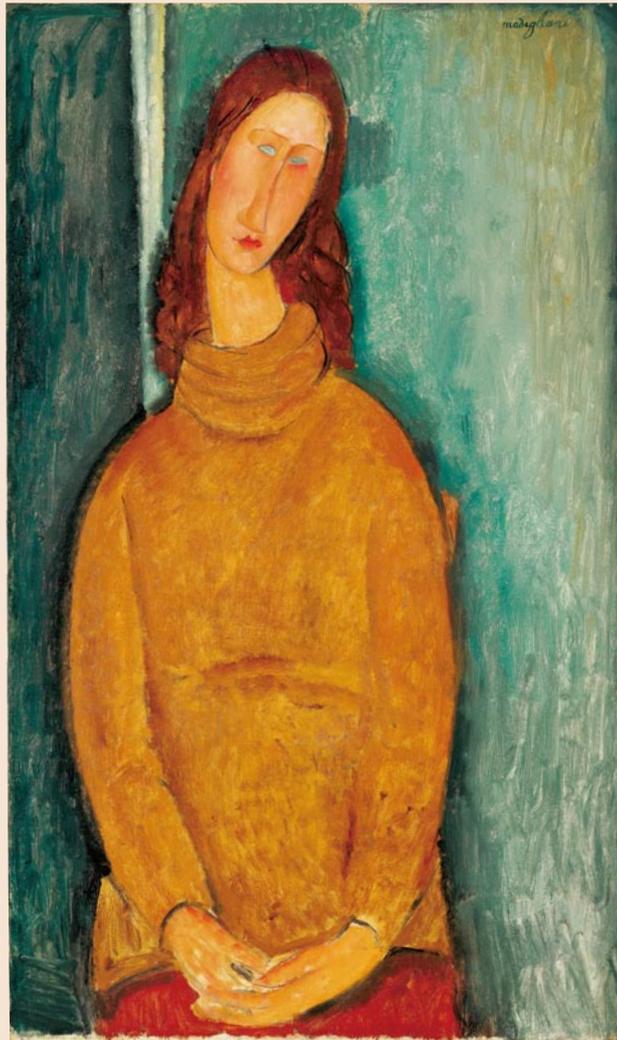
2012-2013 ガバナー月信

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

Governor's Monthly Letter

Vol. **4**

2012.10.1



「ジャンヌ・エビュテルヌの肖像」 アメデオ・モディリアーニ
(大原美術館所蔵)



Peace
Through Service

2012-2013年度

国際ロータリー会長 田中 作次

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2012-2013年度ガバナー 森田 昭一郎

CONTENTS

- 2 ガバナーメッセージ
「職業奉仕月間によせて」
- 3~4 米山月間によせて
- 4 雑誌・広報委員会セミナー報告
- 5~11 ガバナー公式訪問だより
- 11 第1回ガバナー補佐会報告・米山選考スケジュール
- 12~15 会員増強・ロータリー財団合同セミナー
- 16~17 地区だより(8月)
- 17 文庫通信
- 18 出席報告

ガバナーメッセージ

職業奉仕月間によせて

国際ロータリー第2690地区ガバナー

森田 昭一郎



今は200ヶ国以上、120万を超える会員を擁して滔々と流れる大河となったロータリー組織ですが、その源流、最初の一滴はアメリカ・シカゴのポール・ハリスを中心とした数人の仲間から発しています。彼等は仕事の合間に集まって色々な事を話したことでしょ。

“人はパンのみにて生きるにあらず”という言葉があります。彼等がその言葉を思い浮かべた時、利益の追求・自己シェアの拡大のみが、はたして自身の職業のすべてなのか、本当にそうなのか、という疑問を持ったのは当然の成り行きだったと思います。当時のアメリカはサクセス・ストーリーに邁進する起業家達の戦場だったのでしょ。言わば強い者のみが生き残る弱肉強食のドック・ワールドのような過酷な状況が各所で展開された筈です。「果たしてそれが自分達の望む世界なのか、ふと立ち止まって考えた、そしてどうあるべきかを想像した」、その人達の世界観が今日私達が所属しているロータリーの最初の姿だったのではないでしょか。

戦後の瓦礫の中で日本人は敗戦に怯むとなく猛然と立ち上がり“24時間の勝負”と言われた夜も昼もない死に物狂いの努力をする事によって廃墟になっていた国を今の姿に仕立て上げ“日出ずる国”と外国に呼ばれるほどの驚異的な復興を遂げてきました。それは幾十年と続いてきた高度経済成長時代を支えてきた私達より一つ前のジェネレーションの力でもありました。

しかし同時に高度経済成長を達成する為には色々な好ましいものを捨てざるを得ませんでした。私達が大切に守ってきた日々の生活習慣、日本古来の美しい自然

の姿、日本独特の礼儀作法、すべてのものを他と分かち合う習慣、そのような一つの民族が大切に守ってきた好ましい記憶は次第に薄れ、現実的な方法論のみが横行するようになりました。しかしそれを責める事は出来ません。当時の日本を支えてきた人達も充分に分かっていた筈ですが、時代と共に進む為には、哀惜の念を持って捨てざるを得なかったのだと思います。

しかし今世界は、そして私達の国・日本も徐々にではありますが変わろうとしています。個人、企業と社会の整合性が規則正しく機能する事が新しい時代を創り出す必須の条件だという事が判ってきたからです。

メセナ活動-企業の文化的活動、CSR-企業の社会的責任、そしてそれに携わる個人のコンプライアンス（法令順守）倫理観、それら公私に渡っての正しい社会を構成する要因、合理性に富んだ倫理観が重要視されてきつつあります。これこそが、ロータリーが100年に渡って掲げてきた「職業奉仕」の真の姿だと思います。この考え方があるからこそ他の奉仕団体と一線を画してきたのではないでしょか。自分達がどのように考え、そして何をなすべきかを自身に問う事こそ今私達ロータリアンに課せられたテーマであると思います。そして、その答えは100年に渡って積み重ねてきたロータリー研究と実践の中に必ずあります。「職業奉仕」とは私達にとって必要欠くべからざる知識であると同時に正しい秩序に満ちた世界を創造するとの認識のもとに、さらに深く追求されていかなければなりません。



米山月間によせて

米山記念奨学会理事

PDG 葛尾 信弘 (松江東RC)



この度、森嵩正PDG（津山RC）の後任として理事に就任することになりました。森嵩正PDGの3年間に亘る御盡力に深甚なる敬意と感謝を表し、併せて今後2年間宜しく願い申し上げます。

私は、理事に就任するに当たり、個人的には何か御縁を感じております。米山奨学生が日本での勉学を終え、学友として、それぞれの母国で多方面にわたりリーダーとして活躍されている事はロータリアンの皆様もよく御存知と思います。そもそも本奨学会の使命は『将来、日本と世界とを結ぶ“懸橋”となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する。それはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのもの』となっております。その“懸橋”の御一人、ヴェトナム・ハノイで活躍されているフィン・ムイ先生（69才）と私のエピソードを紹介いたします。彼は1962～77年、15年の長きに亘り日本に滞在、その間、1973～74年、米山奨学生（東京品川中央R

C）、東京大学数学科博士号取得、その後帰国してハノイ大学教授、ヴェトナムで初の私立大学であるタンロン大学を創立。（タンロンはハノイの古名）。更にタンロン技術学院も設立し院長就任、若い学生達の専門的職業教育に携わっている御方です。私事で恐縮ですが昨年3月お彼岸の頃、私は、昭和15年（1940年）9月23日ハノイの北方の国境の町ドンダンで戦死した長兄の慰霊に次女を伴い出掛けることになりました。出発に当たり、米山記念奨学会 坂下博康事務局長から紹介を戴き訪問の意図をフィン・ムイ先生に伝えたところ、快諾の上、それ以来親身に優る有難いお世話を戴くことになりました。

長兄は72年前、昭和15年、日本軍佛印進駐作戦中、ドンダンで21才の若さで戦死しました。事前に幾度かのメール交信、資料交換の後、約束の3月20日、ホテルから戦死の古戦場まで奥様共々車で片道約180kmを同行、案内して戴きました。ハノイから北上するにつれ山岳地帯となり、周囲には峻立した岩山があちこちに現れ、峠道になりました。ムイ先生によればこの地形こそが過去何千年の間、度々の中国軍の侵入を防ぎヴェトナムを守ることが出来たとの事でした。

無事、滞りなく古戦場で慰霊をすませ、夜はハノイに戻り郷土料理を娘共々御馳走になり、歓談、先生の国境を越えた人間愛、心優しく高潔な御人柄にふれ感動した次第です。

さて、10月は米山月間です。『ロータリーの友』、『米山豆辞典』、『ハイライトよねやま』などで米山記念奨学

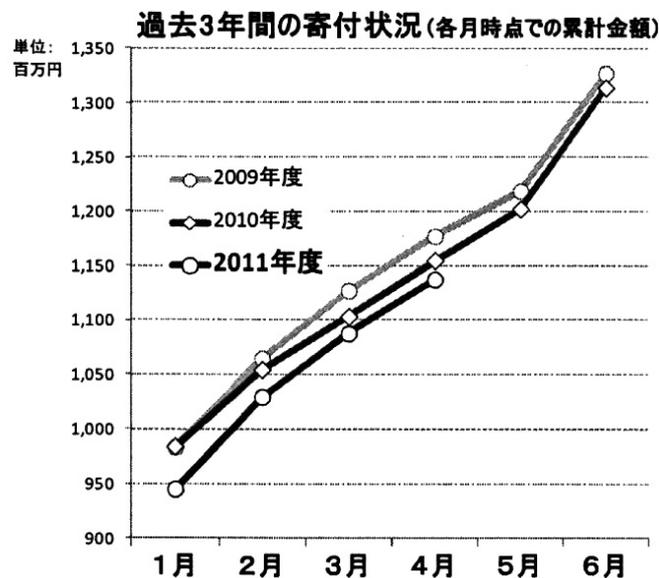


<フィン・ムイ先生 近影>



会の歴史、使命、各種資料、特に寄付状況や各地での学友の活躍が紙面を賑わすことと思いますので是非熟読戴きたく切望いたします。

過去3年間の寄付状況を図示します。



2011年4月現在11億3700万円。前年比-1.5%、約1700万円減。

4月は名古屋東 RC 坂本精志会員から法人寄付約1880万円の大口寄付にも拘わらず前年比170万円減。因みに坂本精志会員は島根県雲南市加茂町出身、ホシザキ電気 kk 会長、この7月数々の功績、奉仕活動により雲南市名誉市民となりました。

以上の如く、ここ数年来の会員減少もあって寄付が

減少しています。そのため『奨学資金特別積立財産』は42億円から25億円まで取り崩して奨学生採用を維持してきましたが、本年3月の理事会では次年度採用をこれまで維持してきた800人から700人とせざるを得なくなりました。

1952年東京RCから発足し、60余年の歴史を持ち、日本全ロータリアンが手を携えて行っているこの奉仕事業は2005年RI理事会で田中作次、南園義一、両理事の御盡力により『これまでの米山記念奨学事業が果たしてきた世界理解と平和への貢献を賞讃する』という議決がなされました。正に日本ロータリアンが世界に誇る奉仕事業である事が認められたのであります。これは取りも直さず、田中作次RI会長テーマ『奉仕を通じて平和を』の実践に他ならないと思います。更に今年のバンコク国際大会にはプロジェクトとして米山ブースが出展され、多くの海外ロータリアン（500人）の訪問を受けたことにも証明されていると云えましょう。

第2690地区のロータリアンの皆様!!

どうかこの世界に誇るべき奉仕事業米山記念奨学会に引き続き絶大なる御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

(終わりに資料提供、御助言を戴いた米山記念奨学会坂下博康事務局長に深謝いたします。平成24年8月15日記)

雑誌・広報委員会セミナー報告

8月4日(土) 国際ロータリー第2690地区雑誌・広報委員会セミナーが倉敷アイビースクエアで開催されました。講師としてロータリーの友編集長・二神典子さんをお招きし、森田ガバナー、地区幹事、役員 各クラブから委員長など約70名の参加をいただきました。

講演では、より親しんでいただけるよう演題;「公共イメージ及び認知度の向上と『ロータリーの友』とい

たしました。その後6グループに分かれ『ロータリーの友』誌により親しんでもらう為の改善提案を提出し、地区雑誌広報委員長にグループ長として取りまとめ発表していただきました。今年度から各クラブでどのように取り組まれ変化されたか、来年アンケートを取らせていただくことをお願いと約束いたしました。



ガバナー公式訪問だより

7/11(水)

井原ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、松本随行幹事



河合会長の下に、会員の親睦と融和を図り、穏やかで楽しいクラブになる事を目指しており、実際に和気藹々とした例会であった。継続事業として

「イングリッシュスピーチコンテスト」を中学生を対象に行っており、毎年25～50名の応募者で盛り上がっている。4年目の今年も楽しみな行事であり、いち早く「公共イメージと認知度の向上」を実践している姿は敬服に値する。東日本大震災に対しても45周年記念事業を縮小して、その予算を支援に回した他に、「東日本大震災基金」を創設し継続的に積み立てることにより、支援援助を風化させない取り組みは見習いたい。会員増強にも熱心であり、ここ2年も純増となって47名の陣容となっているが、本年は3名の増員により50名の大台を目指している。ぜひとも達成していただきたい、と思うと同時に必ず達成できるであろう雰囲気を感じながら例会場を辞去しました。

7/12(木)

総社ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



まず、最初に感じたことは、森田ガバナー、鴨井地区大会実行委員長のお人柄についてです。初対面にも関わらず終始優しい眼差しで接してく

ださり、緊張して場に臨んでいる私たちの硬さを和らげてくださったと感じています。当然の事のように思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、とても大切に、誰もが出来ることとは思いません。やはり普段から人との接し方についての思慮深さと実践がそうさせているのだと思います。

次に、森田ガバナーのお考えについてですが、「効

率性」という強い「軸」を感じました。ガバナー月信の電子化に始まり、今後も紙ベースの資料をできる限りなくしていくという方向性。少なからず反対の声もあるかと推察いたしますが、これから先を考えた場合、電子化・IT化にも対応できる力を持つ必要があるという確固たる考えのもとに実践に移されているお姿には、将来を見据えた力強さを感じました。

また、計画をされている事業の1つ、「一緒に食べよう」イベント。会員ではなく、一般の方300名を対象とし、「同じ釜の飯を喰らう」ことをやろうという発想は、今までに無いものだと思います。「意味なきことをすることに意味を感じる」「いかに枠を破っていくか」が大切というお考えを持ち、ロータリーは内向きへの活動が多過ぎるので、それを外へ向く力へ変えていきたいという1つの具体的方法であると理解しました。

森田ガバナーのお考えをよく理解し、クラブ活動が活発になるよう会員を刺激していきたいと思いました。

(総社 RC 幹事 櫻井浩之様からの寄稿)

【森田ガバナー facebook より】

本日は総社クラブです。このクラブは森下パストガバナーがご活躍ですし、小鍛治ガバナー補佐を出していただいているので、半ば表敬訪問という事になります。訪問してみても会長・幹事の打てば響くような反応が大変頼もしく、従前に較べると会員数減ではありますが、今後が大いに期待できるクラブだと思います。

7/17(火)

児島ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、内田随行幹事・藤木随行幹事



児島 RC は創立47年目を迎える会員数31名のクラブです。例会場のせとうち児島ホテルは瀬戸大橋をはじめ、瀬戸内海、遠くには四国を望める

素晴らしい景色が一望できる景観の地にありました。平均年齢64歳、40代から60代が全体の7割(20名)を占めるバランスの取れた会員構成のクラブです。クラブ運営は基本に忠実で西原会長のお人柄か、とてもアットホームな素晴らしいクラブだと感心しました。例会

ガバナー公式訪問だより

には渡辺好政元 RI 理事も出席されており森田ガバナーもやや緊張された様子でした。奉仕プロジェクトでは「せんい瀬戸大橋まつり」や「倉敷国際トライアスロン大会」等の連帯、そして児島ロータリークラブがスポンサーである児島ローターアクトクラブとのコンタクトを密にした様々な活動を推進されています。太田幹事、片山副会長が西原会長を強力に補佐し、大変チームワーク良く、ほほえましいムードで運営されているクラブだと実感しました。最後に西原会長の「力強い点鐘」で閉会しました。児島 RC の皆様ありがとうございました。

7/18(水)

米子東ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、内田随行幹事



梅雨明けの暑い日の公式訪問でした。小谷維夫会長をはじめ杉原弘一郎ガバナー補佐、永島清孝幹事に迎えられました。

小谷会長はロータリーは家族であり、週に一度例会（家庭）に帰ってくる感じでクラブ運営を行っていきたくて語られていたことが印象的でした。1968年創立で現在83名の会員、平均年齢が58.75才で若い人が多いクラブです。数年前よりチャレンジ100を目標に掲げられ、会員数100名を目指しておられ、今年度も4名の増強を計画されています。また、例会出席100%、ホームに帰ろうと題し補正後90%以上の出席率を目指されています。グレン&千杯野球大会を11月に主管され、活気のあるクラブでした。

7/19(木)

米子中央ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、堀随行幹事

当日は米子地区3連続訪問の中日でした。到着早々吉田会長・細谷幹事・2G 杉原 AG 以下多くの方にご丁寧なお出迎えをいただきました。会長幹事懇談会でのクラブ概要説明では、本年度地区方針の会員拡大にも話が及びました。5%増員達成実現には、場合によっては正味5%では達成しない現実にも言及し、勸



誘のご努力が報われていない現状も伺いました。懇親を中心とされた退会防止にも繋がる日常活動や、特筆すべき一日無料相談会（会員の職業

を通じて）では、多くの市民のご支持（相談）を仰いで、素晴らしい成果に結びついておられました。直前に催された施設の子供達を招いての地引網大会は、夢と希望を育む活動として定着していました。家族的な温かみのある例会でおいしい昼食をいただき、日本より輩出している田中 RI 会長方針と森田G地区方針をお伝えし、実りある公式訪問になったものと信じています。

7/20(金)

米子ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事
会員と握手。森田昭一郎ガバナー公式訪問。



森田ガバナーの公式訪問を楽しみにしていました。財団セミナー、PETS、地区協議会に参加しましたが、セミナー等の主役として忙しく任務を

務めているガバナーに直接挨拶に伺うなどできないと感じたからです。

森田ガバナーと随行の鴨居尚志地区大会実行委員長をお迎えし、例会前に米子RCの会長勝部、中本幹事・松本副会長・塚田副幹事を交えてクラブ運営についてのディスカッション。その中で、新年度前のセミナー等における森田ガバナーの発言に対する率直な感想も述べさせていただきました。終始笑顔で話をされたのが印象に残りました。

例会では、スライドを使って講演をいただき、鴨居尚志地区大会実行委員長から地区大会へのご案内があり、無事公式訪問を終えることができました。

一般の会員は、地区大会に出席しても遠くから話を聞くだけで終わってしまいます。退場の際各会員と握手をしてくださるとお願いし、快く応じていただきました。



ガバナー公式訪問だより

ありがとうございました。

(米子 RC 会長 勝部不二夫様からの寄稿)

【森田ガバナー facebook より】

2690地区の中でも老舗クラブ 米子クラブへの訪問、勝部会長、中本幹事のリーダーシップのもと、想像以上に新しいスタイルの例会、伝統は改革をする事によって、守られるとはまさにこのことか。最後に会員全員と握手、こうすれば会員大会の出席者が増えるかもしれませんとの会長のアイデア、粋な計らいに感謝。

【森田ガバナー facebook より】

原元ガバナーの丁寧なお迎えを受け、12時より和室で食事、後12時半より例会、久しぶりにゆっくりと昼食がとれる。木佐会長率いる出雲の老舗クラブの例会はまさに礼節正しくキッチリときまっている。特に12～13分間の会長挨拶は、ロータリーの基本知識がたっぷり含まれた、誠に見事なスピーチであったが、これを毎回しなければならぬのかと思うと人ごとながら寒くなる。しかし、自己修練には打って付けの場であろう。

7/24(火)

出雲ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



森田ガバナー、鴨井地区大会実行委員長をお迎えし、会長幹事懇談会が行われた。森田ガバナーからは、今年度のガバナー方針等の説明が

あり、豊富な知識と経験にもとづく示唆に富んだお話をいただいた。特に会員増強については、会員5%増を実現するために、公共アワードの活用、マスコミを活用して認知度の向上、外部に向けてのPR等に力を入れ必ず目標を達成していただきたい。また、出席率は80%を超す努力を継続していただきたい。プロセスよりも結果がすべてであるとの説明を受けた。出雲 RC 会長方針では、木佐会長が今年度方針「楽しい気持ちで奉仕しよう」をテーマに1. 会員の増強、2. 会員の親睦を深める、3. 社会奉仕の継続した取り組み、4. 創立60周年にむけての準備活動についての説明をした。クラブ概況報告では、廣田幹事より出雲 RC は、1954年松江 RC をスポンサーとし、5RC(大社、大田、出雲南、出雲中央、ナホトカ)のスポンサークラブであること。特筆すべき継続事業として1. 使用済み切手収集47周年、2. インターアクトクラブ結成46周年、3. 出雲市中学校野球大会支援16周年があげられる等の説明をした。(永島副会長、福間副幹事同席)

(出雲 RC 幹事 廣田恵春様からの寄稿)

7/25(水)

松江ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、秋山随行幹事



松江ロータリークラブは、本年創立60周年という節目の年を迎える名門クラブである。会員数は66名で、会員の平均年齢は59.59歳と歴史と伝

統を感じるクラブとしては比較的若い。例会は天井の高いホテルの部屋で行われ、落ち着いた雰囲気であった。既に昨年から60周年実行委員会を中心に種々周年事業を計画中である。具体的には、60周年記念事業として、過去2年間は取り組んでいなかった夢計画・新地区補助金事業に取り組む予定である。その内容は、郷土に関わる書籍を地元の小中学校に寄贈し、子供たちの勉強や表現力の指導を行い、子供たちの発表会のバックアップも行う等、会員の資質を活かした地元に着目した内容である。その他、60周年にからめて、例会プログラムを充実させたり、交流会を実施し、会員が集う楽しさや喜びを得られるような取り組みを行っている。会長・幹事懇談会や公式訪問例会を通じて、森田ガバナーの話や人となりについては、今までのガバナーとは違った、革新性を感じたとの会長所感が印象的であった。

ガバナー公式訪問だより

7/26(木)

松江東ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



会長・幹事懇談会
梅の間

冒頭で「クラブ協議会における貴クラブの評価はガバナー補佐より超優秀との報告

告。ガバナーも排出され、言う事がない。」との森田ガバナーの挨拶に安堵。気を良くした当クラブ矢田会長挨拶、幹事によるクラブ概況説明の後、ガバナーのお話。世代交代が進み、変化を求められる国際ロータリーのあり方やEクラブ等の最新の諸問題について詳しく説明されました。適正なクラブ会員数や例会出席についての私論もあり、とても参考になりました。

例会 サンシャインホール

レシーニュ（会員夫人によるコーラス同好会）の歌によってお出迎え。ガバナーより感激したとの挨拶。サンディエゴに於けるGET Sでレクチャーを受けた時の経験談、田中RI会長のテーマ「Peace Through Service」、地区スローガン「tsu ku su」について分かりやすくスピーチされました。最後に鴨井地区大会実行委員長より地区大会のPRがありました。この例会を通じて自由で闊達な当クラブの雰囲気伝わったのであれば幸いです。

（松江東 RC 幹事 佐藤哲也様からの寄稿）

【森田ガバナー facebook より】

矢田会長、佐藤幹事との懇談の後、例会入場の際会員の奥方で組織された“レシーニュ”というコーラスグループの唄で迎えられる。おそらく全国的にも珍しいケースであろう。この奥方達のアカペラが中々のものである。よほど練習を積んだものであろうと思う。又、会長・幹事の気遣いで昨日と例会場が一緒ではあるが、全く異なるメニューのランチ、とことんの気遣いに痛み入りました。

7/27(金)

岡山西南ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随行幹事



森田昭一郎ガバナー、鴨井尚志地区大会実行委員長をお迎えしての公式訪問例会に先立ち、会長・幹事懇談会に於いて、幹事よりクラブ概要

の説明、会長より運営方針の説明を行いました。なかでも本年度の重点事業として、「高校生イニシアティブ防災理解教育」、岡山県立興陽高校インターアクトクラブ生徒を東日本大震災被災地「大槌町」への派遣事業が、森田ガバナー地区テーマ「tsu ku su」に合致する旨、また「会員増強についての取り組み」を説明いたしました。その後クラブ運営につきましては森田ガバナーより心温まるご指導、ご助言をいただき大変リラックスすることが出来、今年度目標遂行に自信が出てまいりました。

例会に於いても新入会員の入会式にあたり、森田ガバナーよりロータリーバッジを付けていただくなど、新入会員にとりまして記念すべき入会式であったと存じます。

卓話に於きましても、田中作次RI会長テーマ「奉仕を通じて平和を」、森田ガバナー地区テーマ「tsu ku su」などの説明をいただき、会員一同和やかな雰囲気ですべてを終えることが出来まして有難うございました。今年度 クラブ運営にさらなるご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

（岡山西南RC会長 油谷直幸様からの寄稿）

【森田ガバナー facebook より】

ここは小林パストガバナーのクラブなので油断は出来ない。少し締まっていこう。最大会員数の時に比べると半減はしているが、会の運営内容は非常に充実している。油谷会長と村上幹事の本年度の手腕の見せ所であろう。会員数の回復と共に実力のあるロータリーに成長していくのが予測できる頼もしいクラブである。帰りは外気温38度、実行委員長の鴨井君と“外へ出たら死ぬで”と言いつつ帰路へ。



ガバナー公式訪問だより

7/31(火)

岡山岡南ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、土倉随行幹事



創立19年目、現会員の平均年齢が52歳代という非常に若々しいクラブである。三宅会長は2回目のお役目で、「地域社会で高いレベルの奉仕

活動を推進できるよう、今年度はクラブの未来を見据えた長期計画に沿った活動をしていきたい」と大変意欲的である。会員数は30名強。再来年3月の20周年に向けて40名体制の目標を設定するも、順調に増強が進んでおり、45名に上方修正をされている。新地区補助金を活用した「身体障害者および高齢者を対象にしたユニーク・ダンス発表会」（11月実施）の準備も順調に進んでいるようだ。補助金制度については単年度ではなく継続性の必要について強く要望された。例会の雰囲気は和やかでアットホームな印象を受けた。姉妹クラブである台湾の台中中興RCと毎年交流を行っていること、またクラブ内でfacebookを奨励しているなど、随行スタッフとしておおいに刺激を受けたクラブ訪問であった。

8/1(水)

江津ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、星島随行幹事



当日は少し早めの出発だった。順調に走行出来、早々の到着となった。山藤会長・二上幹事を筆頭に、皆様の歓迎を頂戴する。早速の会長

幹事懇談会で、クラブ概要のご説明を受け、29名の会員でクラブ運営を頑張っておられることを伺った。クラブ方針は、地区方針に沿い、本年会員拡大に挑戦をいただく。活動は前向きに取り組み、継続事業の江津波子海水浴場の清掃活動や会員の職場訪問、IACの実践、「青少年の体験学習と故郷づくり事業」へ

の支援など盛り沢山の内容であった。国際奉仕として、ケニア・マトマイニ孤児院へ充実した支援、米国・コロナ市との交流が実施されており、濃い内容であると感心する。また、各種寄付金も達成されていた。今後もこれらが継続されるであろう本気を感じる。例会は温かみあるご設営で、楽しい雰囲気の中、ガバナーはRIの年次方針と地区方針・目標をお伝えし、無事訪問を終えた。

8/2(木)

浜田ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、星島随行幹事



本日は昨日の隣接クラブへの訪問、少し近くに感じる当日だった。多忙なスケジュールながら、今日も楽しみな公式訪問。

到着に合わせてのお

迎えは、本当に嬉しいもの。恐縮の中、会場へ向かう。まずは、会長幹事懇談会。クラブ幹事の螺山様から概況報告を頂く。会員数56名での運営、底力を感じる。土田会長は2世メンバー、伝統も見える。クラブ年次方針も安定感がある。有難いことに、地区方針への協力項目が多い。地区方針も、新鮮さが要求されているのだろうか。ここは新世代への取り組みに厚みがある。浜田マリンサッカーフェスティバルの支援、浜田高校定時制への奨学金授与、浜田RC奨学生募集などが並ぶ。また、クラブ管理運営にも力を注ぎ、地道な歩みが伺える。現在の事業をPRし、クラブの公共イメージの向上に結び付けたい、という願いが叶えられますように祈りつつ、心のこもった例会を味わった。

8/3(金)

益田ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、三宅随行幹事

矢富邦久会長のクラブスローガンは「伝えていこう、ロータリーの心」。これは会員の拡大を図っていく決意の元に考えられたスローガンです。

51年の歴史を持つクラブではありますが、会員数（23名）が伸び悩んでおり、高齢化（平均年齢65.65才）

ガバナー公式訪問だより



も進んでいるのが現状です。今年度は5%増強を目指して、会員増強に大変、努められています。また、会員相互の親睦を深める例会作りを行っ

たり、「キラリ☆一番星アワード」に対し現在2件の候補を預かっているなど、活性化に向け努力され、明誠高等学校のインターアクトクラブの活動にも協力支援を行っています。継続事業としては、環境保全に取り組み「EM菌による水質改善」を計画されています。

8/3 (金)

益田西ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、三宅随行幹事



第2690地区では、一番西に位置し、益田市の人口は約5万人であります。会員数は27名で今年度、松本祐二ガバナー・ノミニを輩出するクラブ

であり、若いメンバーが多く活気がありました。藤原博明会長のスローガンは「Enjoy Rotary ロータリーを楽しもう」で、楽しいクラブにすることで会員が増え、そして奉仕活動が活性化され、人々に平和と幸せをもたらすと考えられています。会員数が少なくクラブ運営が大変ですが、積極的に会員増強に取り組み20%の増強を目標に掲げられています。現在 CLP に取り組まれています。「鮎」を市の魚に制定することを提案し、「公共イメージと認知度の向上」を計る予定です。ガバナー輩出に際し、近隣クラブと協力をして各種行事を進めていこうと考えられています。また、地域の青少年の育成を実践し、会員交流を積極的に行っています。

8/6 (月)

松江南ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、岡本随行幹事

松江はいつ訪れてもその情緒あふれる街並みに心和



まされる場所である。中澤会長・福田幹事のお出迎えを受け、会長・幹事懇談会では、地区の最重点目標でもある会員増強をクラブの最重点目標

に掲げられているとお言葉をお聞きする事が出来、頼もしく思えた次第です。また、一昨年のクラブ創立50周年を機に特に環境問題にも積極的に取り組んでおられ、『宍道湖ヨシ再生プロジェクト』・環境ファンドなど多角的に活動されています。松江水郷祭後には翌日早朝より自ら汗をかき、宍道湖畔の清掃を行い、その後早朝例会をする等、活発な活動を展開されていました。例会においては、ホームクラブ出席率は80~85%と素晴らしい出席率を誇り、食事時間も12:10~12:45にゆっくり食事をとり、12:45から点鐘という工夫をされていて、楽しい例会運営を心掛けられていました。

8/7 (火)

松江しんじ湖ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、岡本随行幹事



雄大なる宍道湖を抱え、松江城を中心に多くの掘割が広がる『水の都 松江』。会場である宍道湖畔にある「夕景湖畔すいてんかく」で陶

山会長・久保田幹事、それに当クラブの和田ガバナー補佐のお出迎えを受けました。会長・幹事懇談会では熱心な討議になり、例会時間の始まりが多少遅れるほどでした。このクラブの特出すべき点は、やはり女性会員の多さで、現在9名とのことでした。これは地区内でもトップクラスの数だと思います。ロータリークラブは松江市内に4クラブあり、本クラブはもっとも若いクラブにも拘わらず、69名（7月3日現在）の会員数は素晴らしいことだと思うのと同時に、日頃よりの例会運営の心遣い・会員維持・増強の努力があつてのことだと察しました。陶山会長のクラブ運営方針に書かれてある『私は会員を増やす前提として、今年度一人の脱会



ガバナー公式訪問だより

者も出さないロータリークラブ作りを行っていききたい…」の言葉が印象的でした。

8/21(火)

岡山北ロータリークラブ

訪問者：森田ガバナー、鴨井随同行幹事



ロータリークラブの特質について質問すればすぐさま歯切れのよい返事が返ってくる!森田ガバナーのシンプルかつ明快なロータリー理論の解

釈に感服いたしました。ガバナー月信の電子化に代表される革新的な運営を進められる一方で職業奉仕を根

本理念として展開するクラブ論は、会員であることの誇りを思い出させてくれました。料理好きのガバナーのためにホテルには特製メニューをお願いしたのですが、良い肉を使ってくれていましたね。

(岡山北 RC 会長 米林 真 様からの寄稿)

【森田ガバナー facebook より】

米林会長、双田幹事の出迎えを受け懇談、米林会長はいつもフェイスブックでお目にかかっているのので初対面とは思えません。職業がらでしょうかスマートな着こなしの様子でにこやかな対応をいただきましたが、会員数をなんとか増員をしようとの決意は固くありがたい話でした。例会にはおそらく地区内でも最高齢の吉原会員(ナント95才!しかも矍鑠たる様子)もご出席いただき感激しました。食事はステーキ、なんとも豊かな午後でありました。

第1回 ガバナー補佐会報告

日時：2012年9月1日(土) 15:00~16:30
会場：倉敷アイビースクエア コーラルの間

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1) 組織図について | 8) ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)について |
| 2) 地区大会について | 9) ロータリー世界平和フォーラム広島について |
| 3) 2013-2014年度ガバナー補佐の推薦結果について | 10) 今後の行事予定について |
| 4) IMについて | 11) その他 |
| 5) 2012-2013年度 奨学生 募集について | ・ロータリーカードについて |
| 6) アワードについて | ・危機管理委員会について |
| 7) 月信について | |

米山選考スケジュール (第2690地区)

2012年10月15日

各大学から被推薦者申込締切

2012年11月~12月米山記念奨学生 小論文採点

選考委員で採点

2013年1月13日(日) 倉敷国際ホテル

米山記念奨学会選考会

(ガバナー、代表幹事、米山記念奨学会理事他選考委員)

2013年3月10日(日) 倉敷アイビースクエア

米山奨学生歓送会・第8回米山学友会総会

(ガバナー、代表幹事、米山記念奨学会委員、米山奨学生他)

2013年5月12日(日) 倉敷国際ホテル

新規米山奨学生オリエンテーション

(ガバナー、代表幹事、次年度ガバナー、米山記念奨学会委員、新規米山奨学生他)



特集

会員増強・ロータリー財団合同セミナー

ロータリー財団と会員増強はいわば夫婦のような関係

国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度ガバナー

森田 昭一郎

今まで公式訪問しており、現在35クラブが終了しました。今日ご出席の皆様にも、顔見知りが多く、そんなに緊張もしませんし、仲間うちでのロータリーといったリラックスした気持ちでいます。また、他地区のガバナーともお話することもありまして、その中で聞いた話ですが「ガバナー伝説」という言葉があるそうです。ガバナーは7月1日からすぐ公式訪問に入ります。それが毎日のように続きます。寝てもさめても公式訪問のことしか頭になく、今日が何日なのか、自分自体がどこにいるのか分からない、そういう恐ろしいことが起こるのがガバナー伝説だということでした。私もそれに近い状態になりまして、昨日の夜に電話を受けまして、「明日何があるの?」と言ったら怒られました。(笑) 本日はロー

タリー財団と会員増強の勉強をしていただきます。財団と増強は、いわば夫婦のような関係だと思えます。増強がなされて、はじめて財団が成り立つ、財団があって、はじめて増強の意味が出てきます。この2つが相まって1つになって、ロータリー運動は進んでいくと思います。

この後、2つのグループに分かれて勉強していただきますが、財団を勉強される方は、財団を勉強しつつ増強を考えていただき、増強を勉強される方は、増強を勉強しつつ財団を考えていただきたい。その相関関係を頭に入れてもらい、今後に役だてて下さい。

今日は一日、長丁場になると思いますが、よろしくお願い致します。

会員増強・ロータリー財団合同セミナープログラム

日時：2012年9月1日(土)
場所：倉敷アイビースクエア

10:30	登録・受付		
本会議 (会場：フローラルコート)		司会：地区会員増強委員長	桑村 琢
11:00	開会点鐘 ロータリーソング「奉仕の理想」 ガバナー挨拶 来賓並びに地区役員紹介	ガバナー ガバナー ガバナー	森田昭一郎 森田昭一郎
11:15	講演「高福祉・高負担の国スウェーデンー女性の視点からー」	前ジェットロストックホルム事務所所長 就実大学 非常勤講師	上岡美保子
12:05	閉会挨拶 閉会点鐘	地区代表幹事 ガバナー	井上 峰一 森田昭一郎
12:10	お知らせ		桑村 琢

▶▶▶ロータリー財団セミナー関係者は会場オパールに移動▶▶▶

休憩 (各会場にて昼食)

◇ロータリー財団運営委員会 (12:20 ~ 12:50 会場：コーラル)

会員増強セミナー (会場：フローラルコート)		司会：地区会員増強委員長	桑村 琢
13:00	開会挨拶	ガバナー	森田昭一郎
13:05	講演「増強はクラブの活性化から」	第3ゾーン ロータリー・コーディネーター (第2660地区バスター・ガバナー 千里RC)	井上 暎夫
14:30	閉会挨拶	地区副代表幹事	内田耕太郎
ロータリー財団セミナー (会場：オパール)		司会：新地区補助金委員長	中村 公彦
13:00	開会挨拶	ガバナー・エレクト	森本 信一
13:05	講演「奉仕の第二世紀」にむけてークラブの役割ー	地区ロータリー財団委員長	鳥居 滋
13:45	2011-12年度新地区補助金 結果報告	新地区補助金 直前委員長	小林 健治
13:50	2012-13年度新地区補助金 状況報告	新地区補助金 委員長	中村 公彦
14:10	2013-14年度新地区補助金 スケジュール	新地区補助金 次期委員長	神崎 信輔
14:15	質疑応答		
14:30	閉会挨拶	地区副代表幹事	秋山 進彦



高福祉、高負担の国スウェーデン ~女性の視点から~

前ジェトロ・ストックホルム事務所所長、就実大学 非常勤講師

上岡 美保子 講師

私は海外に住んでみて、人が本当に大事だと感じました。何故スウェーデンの話をするのか。日本の現状とあるべき姿はどうか。1つの鏡としてスウェーデンの話を見せてもらいます。また、私は2001年~2008年まで岡山南ロータリークラブ女性会員1号として赴任直前までお世話になりました。今日の話にその視点が少しでも入ればいいと思います。スウェーデンは、皆様が思われるより北の方にあり、シベリアと並ぶ位置にあります。それだけに過酷な自然との戦いがあります。この長い歴史の中で、国民性を培い福祉という道が開けているといっても過言ではありません。その中で生きていく知恵をスウェーデン人は持っています。女性は色が白く美しい、男性はカッコいいです。ストックホルムは、水の都、北のベニスと呼ばれ、四季もありとても美しい景観です。

今日話すこと (要旨)

□なぜ日本人はスウェーデンという国に注目したのか。

2010年10月菅直人前首相が就任直後の記者会見で、強い経済・強い財政・強い社会保障は、一体化して強くできる。その成功例としてスウェーデンの名前を挙げられた。

□スウェーデンという国の概要。

面積約45万km² (日本の1.2倍) 人口約950万人。GDP (2011年) 世界21位、(国民1人当たり) 世界8位。国会議員の平均年齢は40代、閣僚の半数が女性です。

□なぜ北の貧しい国が世界の福祉先進国になれたのか。

第二次世界大戦後の復旧特需で潤う。戦争準備金を原資に福祉の道へ邁進。

□なぜ女性の社会進出が進んだのか。

女性を戦後の好調な経済を支える労働力と認識。仕事と育児の両立を可能にする支援制

度の整備。福祉サービス部門の担い手として女性が進出。所得課税法の改正等。

□スウェーデンの「高負担」とは。

2008年の国民負担率は59%と高い (日本38.8%) が、高福祉を受けるために高負担の前提を国民は納得、正しく公平に再配分されるという国に対する信頼感がある。

□スウェーデンの「高福祉」とは。(一例)

教育：公立も私立も大学院に至るまで学費は無料。育児休業手当—子供が8歳になるまでの間に子供1人につき480日まで育児休暇がある (パパクォータ制度)。児童手当：16歳未満の子を持つ親に月額12,600円を支給する。病気をした時：治療費の年間自己負担額の上限がある、治療費は18歳未満の医療費は無料。失業した時：受給期間は300日間で働いてきた給与の80% →70% が支払われる。

□男女平等と女性の社会進出状況。

女性の労働力率 (2008年) 77% (日本63.2%)。22歳~44歳の女性の就業率 (2009年) 87% (日本66%)。管理職に占める女性の割合 (2008年) 33% (日本9.3%)

□日本、スウェーデンにおけるロータリークラブの女性会員増強への取組み。

スウェーデンのロータリークラブは10地区550クラブで会員数約31,000名、その内女性会員約7,130名で23%となっています。この数字は幾分低いように見えるかも知れませんが、情勢は大変活発です。また、多くのクラブはさまざまな民族的背景を持つ男女に会員増強の的を絞って意欲的な勧誘取組みを行っています。

最後に、これからは常識が通じない。何が起るかわからない。皆さんが未体験のことが日本でも起こります。皆さんが知恵を出し合って、日本のこれからのあり方、地域のあり方、ロータリーのあり方を考えることが大事になってきます。その1つの鏡としてのスウェーデンをご紹介させていただきました。

ご清聴ありがとうございました。(文責：書記団 丹波伸夫)



増強はクラブの活性化から

RI 第3ゾーン ロータリー・コーディネーター

井上 暎夫

≪講話≫

ロータリーを含めてあらゆる組織体にとって、会員増強は永遠のテーマである。増強しないと無くなる訳で、重要なそして困難なテーマである。このテーマに従って経験の一部を披露しお役に立っていただきたい。

≪現在の世界の状況≫

2010~12年の2年間では、世界のロータリアンは殆ど増えておりません。世界にゾーンは34ありますが、伸びているゾーンは12、減っているのは22で減っているゾーンが3分の2弱もあります。国で言いますと、

会員数が伸びている国は

インド 109.1 ブラジル 107.3
ドイツ 104.5 韓国 103.0

会員数が減少している国

米国 95.9 豪州 96.3 日本 96.6
イタリア 97.5 フランス 98.0

経済が発展している途上国では伸びているものの、先進国では減らしているのが現状で、分布は変わりつつあります。

さて、日本では、対前年会員減少率の低下がみられるものの、減少は続いております。でも、最近5年間に日本では、平均6800人の新入会員を獲得しております。問題はこれを上回る退会者が出ているために、減少が続いているのです。

≪増強について≫

あるクラブの成功事例ですが、11名が22名に倍増しました。

- ①会長の決意 5年で、30~40代の会員をターゲットに50名にする。
- ②例会運営 机の配列、ニコニコ箱、1分間スピーチ、月1回の学びの例会
- ③会員増強チームを若い世代で結成
- ④4つのテストの活用

大きな要因は、会長の中期計画策定と決断、クラブ全体での取り組みです。

実は、増強のためのプログラムは沢山ありますが、絶対的な有効策はありません。クラブにあった戦略(長期)計画をたてて、全員で取り組んで頂く。ロータリーの基本、特色である職業分類表を活用すべきです。

≪会員維持、退会防止について≫

RIが2002年に、日本での退会者のアンケートを実施しております。退会理由は①健康上②退職③出席困難で、例会時間、場所、会費、寄付に大きな不満はありません。問題は

13000人に対して回答率が11%であり、答えなかった人々に大きな問題があったのではと考えられます。

ある地区で、会長に対して退会理由を尋ねるアンケートを実施したところ52項目もあり、その内の自クラブに原因があるものが17項目あり、

- ・ロータリーに入ってる意味が見いだせない
- ・クラブに活気、魅力がなく、楽しさが見出せない
- ・例会のマンネリ化
- ・世代間の考えの違い

が、目につきました。折角、入会したのにロータリーに楽しさがなく、かける時間と金が見合っていないと感じる人が、いるのではないのでしょうか。入れても出ていく、漏れをクラブの活性化によって防ぐことが、今の大きな課題であると思います。

シニアリーダの多くはロータリーの素晴らしさを知っております。そのことを会得するのはクラブでの活動です。親睦により、また奉仕を通じて友情を深め、終生の師、友を得て、人生をどう生きるか、忙しいからは真の理由とは思えません。

クラブを活性化するためには、その時代に合わせ、あるいはクラブの実情に合わせてクラブ細則をどんどん変更する対応も必要です。

拡大の結果どこも同じクラブが、増強を競っておりますが、特色あるクラブづくりも活性化に役立つのではないのでしょうか。

≪各クラブ発表への講評≫

会員増強が上手くいっているクラブ、現状維持のクラブ、会員増強に苦戦しているクラブからの報告があった。

- ・米子東RC…会長方針として増強に対する明確な意思表示が素晴らしい。また細則を適宜変更(会費の減免)して対応することは大事である。
- ・笠岡RC…地域での適正規模なのではないか。また退会補充の取組が充分なされている。
- ・岡山城RC…退会者に対しては細則変更でどうにかならないか検討して欲しい。クラブ維持へのアイデアを望みたい。

(文責:書記団 松本光雄)





R 財団の未来の夢計画とクラブの役割

地区ロータリー財団委員長

鳥居 滋

ロータリー財団セミナーは、初めに森本信一ガバナー・エレクトから、「次年度よりロータリー財団は、新しく変わります。私たちはパイロット地区として3年間やっていますが、新しい制度に対して気を緩めずに勉強していただきたい。特に、今年度森田年度はパイロット地区最終年度でありますので、次年度に移行した後も、いい形でスタートできるよう、皆様のご協力をお願いしたい。」と開会挨拶がありました。

続いて鳥居滋地区 R 財団委員長から「R 財団の未来の夢計画とクラブの役割」と題してご講演がありました。

鳥居地区 R 財団委員長からは以下の内容について分かりやすく説明していただきました。

- 2012年度は R 財団の変革遷移過程で、パイロットの仕上げの年であり、2013年度は新制度が発足し、森本年度よりの切替え準備の年となります。
- R 財団の戦略として、本部は人道的プログラムに専念し、世界で注目される財団を目指しています。R 財団の戦術は、プログラムの全面的見直し、短期的プログラムの地区への移管などを挙げています。
- R 財団の2010-2011年度の寄付収入は262.4億円、支出が154.4億円、財団純資産の増加は110億円です。2012年6月末現在での年次寄付等合計では、前年比184%となっています。
- R 財団2010-2012年度の新地区補助金は申請件数95件、完了した件数は21件です。資金配分は教育関係のウエイトが37%と一番高くなっています。
- 森本年度のために地区が取り組む問題としては、次期ガバナー補佐の研修が重要であります。また、クラブ R 財団委員長は、新制度へのスムーズな移行のために2013-2014年度役員との連携、プログラムへの支援と参加が必要であります。

引き続き、新地区補助金小委員会の直前、現、次期委員長から具体的な説明がありました。

初めに小林直前委員長からは、「前年度地区財団活動資金 (DDF) について、収入部門はトータル \$379,579で、支出部門の新地区補助金はクラブ提唱37プロジェクト実施等 \$110,714、DDF 寄贈が \$185,177、次年度繰越額は \$83,688であるとの結果報告がありました。また、新補



助金のスケジュール管理もスムーズに進み、6月21日にプロジェクトクローズとなりました。ご協力ありがとうございました。」

続いて中村委員長からは、「今年度は3年前の基金を基に \$73,367の補助金で32プロジェクトを実施します。奨学生2名を受け入れるなど、2012-2013年度新地区補助金プロジェクトの費用合計を \$125,438としています。3年前の寄付金を使用できることに感謝すると同時に、3年後に向けて是非とも寄付金の協力をお願いします。

プロジェクトの実施と報告書作成の注意点として、未来の夢計画ハンドブック、地区申合せルールを参照してください。補助金資金の使用報告書は、プロジェクト終了後1ヶ月以内に地区へ仮報告し、報告書の最終締め切りは、当該実施年度の2月末日としてください。プロジェクトは会員の関与、ロータリアンが汗を流すことが明確に示せるものにしてください。」とのお願いがありました。

神崎次期委員長からは、今後の新地区補助金および地区補助金に関するスケジュールの説明がありました。「プロジェクト実施報告書の地区提出締切は2013年2月28日まで、5月下旬に R 財団へ報告書を提出、7月上旬までにプロジェクトクローズしてください。2012年12月2日に次期クラブ財団委員長研修会開催し、第一回目の補助金管理セミナーを行います。」

最後に秋山地区副代表幹事より閉会挨拶がありセミナーは終了しました。

(文責：書記団 加戸義和)

地区だより (2012年8月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ベネファクター



ボール・ハリス・フェロー



クラブ特別寄付 (年次寄付)

鳥取北RC…………… 260.0ドル (クラブ寄付、その他)	岡山岡南RC…………… 31.0ドル (その他)
鳥取西RC…………… 1160.5ドル	岡山西RC…………… 231.0ドル (その他)
笠岡RC…………… 353.81ドル (ミリオンダラーマイル)	岡山西南RC…………… 78.0ドル (新入会員寄付、その他)
新見RC…………… 460.0ドル	

年次寄付にご寄付いただいた方々

岡山後楽園RC……赤畠健、赤木匠、秋定健、秋山義信、青山慎吾、荒木賢治、浅海淳一、土井基之、土井志郎、藤本隆志、藤本洋平、藤原学、深井豊久、福光富則、福島正春、蜂谷真規、長谷博明、畠瀬真治、池上孝、犬養吉晴、岩根宏行、片山大輔、川本平山、岸本泰博、小山幹雄、國貞繁樹、丸山夏樹、松井浩明、宮崎雅史、中村淳一、中村善一、那須保友、西山悟、岡本堂松、岡村和則、小野剛、大角雄三、大塚康吉、佐伯行生、眞田信二、芝田堅志、末光茂、高原弘海、高山雅之、田邊敬三、谷本光音、鳥越貞成、内田輝和、内山満義、浦上智史、内海睦雄、吉田啓一、由良眞言、片山康雄

岡山岡南RC……入江祥子、井上元、森下雅人、中前眞子、中村有作、太田哲生、山中真悟、山下孝暁

岡山西南RC……安達学治、秋山裕一、浅野敏美、藤澤敏典、藤原眞人、福島孝彦、伏見正、蜂谷俊夫、春田明俊、長谷川雅三、廣田康孝、本徳智英、堀登詩貴、堀敬夫、井村誠、井上勲、嘉村智美、勝目秀幸、河合智哉、桔梗博充、小橋祐治、小林完治、小林和義、小林孝一郎、古南倫子、近藤和二、小山敏章、熊谷泰美、黒岩晃一、楠本俊憲、桑原洋、松下典裕、三村元博、本山康代、森英文、村上伯夫、仲村巧、野口治代、岡本匡史、小野稔、太田英利、大内皓雄、尾坂功、坂本裕平、佐藤弘一、佐藤能之、椎原裕二、末吉周平、角南義文、田口一子、竹下俊彦、田中英樹、内山一三、上田泰輔、和田治郎、安永幸賢、油谷直幸



米山記念奨学会への寄付

米山功勞者



法人特別寄付



牧野海運株式会社

岡原 稔 笠岡東 RC 1
伊澤正信 岡山南 RC 4
梶谷勝彦 岡山南 RC 5
延原正浩 岡山南 RC 2
東川清隆 玉野 RC 3
三宅孝治 玉野 RC 1
井上 元 岡山岡南 RC 4

クラブ普通寄付

倉吉RC.....140,000円	米子RC.....150,000円	大社RC.....105,000円	総社RC..... 95,000円
鳥取北RC.....130,000円	松江しんじ湖RC.....165,000円	新見RC..... 69,000円	赤磐RC..... 21,000円

特別寄付をいただいた方々

岡山岡南RC.....藤野優、入江祥子、森下雅人、中前貴子、中村有作、太田哲生、山中真悟

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



服部 英明 会員
(美作 RC)

2012年8月4日ご逝去 (享年88歳)
1976年1月1日入会
美作中央病院 理事長
職業分類: 病院
1980-81 第17代会長
1992-93 第9分区代理



片山 大輔 会員
(岡山後楽園 RC)

2012年8月30日ご逝去 (享年61歳)
1994年1月6日入会
株式会社片山電機工業所 代表取締役
職業分類: 電気工事
2002-03 幹事
2007-08 副会長



河合 進 会員
(岡山西南 RC)

2012年8月16日ご逝去 (享年81歳)
1969年4月7日入会 (創立会員)
医療法人一進会河合外科 理事長
職業分類: 外科医
1992-93 会長
2007-08 第11グループガバナー補佐

文庫通信 (300号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー文庫の資料より (2)

◎ 「ロータリーとリーダーシップ」	エリオ・チェリニ	2012	8p	(第40回ロータリー研究会報告書)
◎ 「ロータリーの奉仕活動-プログラムからプロジェクトへ」	南園義一	2012	2p	(D.2770地区大会の記録)
◎ 「国際奉仕 素晴らしい体験・奉仕のノウハウと問題点」	榊原節子	2012	8p	(D.2710地区大会特集号)
◎ 「第2790地区で初のCLP」	成田 R. C.	2012	5p	(創立50周年記念誌)
◎ 「社会貢献的職業奉仕」	細谷伸夫	2012	1p	(D.2800月信)
◎ 「中核となる価値観 (Core Value) について」	田村泰三	2012	1p	(D.2710月信)
◎ 「ロータリーの楽しみ方」	柏熊 均	2012	1p	(D.2790ロータリー情報研究会報告書)
◎ 「Eクラブとは」	D.2650	2012	3p	(RLI 研修手引書)
◎ 「RI 戦略計画 (2010~2013年度)」	D.2650	2012	4p	(RLI 研修手引書)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告 (2012年8月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	8月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	75.00	68.75	4	12	12	0	0
	倉 吉	93.57	75.44	3	56	57	3	1
	倉吉中央	89.77	60.22	4	22	22	2	0
	倉吉東	96.95	74.39	4	41	41	2	0
	鳥 取	100.00	82.53	4	56	60	3	4
	鳥取中央	87.80	83.74	3	41	41	0	0
	鳥取北	82.39	78.87	3	52	52	6	0
	鳥取西	85.71	78.13	4	54	56	0	2
計 (8)	88.90	75.26		334	341	16	7	
第2グループ	境 港	75.14	63.86	3	41	45	0	4
	米 子	79.17	59.85	4	60	63	2	3
	米子中央	88.64	81.06	4	33	33	1	0
	米子東	82.01	71.95	4	83	83	5	0
	米子南	91.16	76.87	3	50	51	1	1
計 (5)	83.22	70.72		267	275	9	8	
第3グループ	松 江	92.19	72.66	4	66	68	0	2
	松江東	92.78	79.59	4	57	58	0	1
	松江南	87.17	80.75	3	63	67	4	4
	松江しんじ湖	95.07	75.86	3	66	68	11	2
	隠岐西郷	84.72	61.11	3	26	26	0	0
計 (5)	90.39	73.99		278	287	15	9	
第4グループ	平 田	90.14	83.80	4	36	38	2	2
	出 雲	74.17	68.87	3	48	51	1	3
	出雲中央	81.16	70.29	3	47	46	3	-1
	出雲南	94.92	76.69	4	59	58	6	-1
	大 社	85.42	76.39	4	42	44	1	2
計 (5)	85.16	75.21		232	237	13	5	
第5グループ	江 津	85.34	80.17	4	29	29	0	0
	浜 田	93.90	81.22	4	56	55	1	-1
	益 田	92.17	78.26	5	22	23	2	1
	益田西	90.68	69.49	4	27	30	2	3
	大 田	96.30	88.75	4	23	23	3	0
計 (5)	91.68	79.58		157	160	8	3	
第6グループ	井 原	78.02	67.56	4	47	46	4	-1
	笠 岡	91.54	84.62	3	51	51	0	0
	笠岡東	90.00	83.13	4	40	40	1	0
	新 見	82.61	76.09	4	23	23	1	0
	総 社	78.26	74.64	4	38	39	7	1
	総社吉備路	88.04	77.17	3	31	31	1	0
	高 梁	87.57	80.23	4	45	45	3	0
	玉 島	79.12	77.40	4	30	30	1	0
計 (8)	84.40	77.61		305	305	18	0	

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数				
				7月1日	8月末	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	76.67	64.44	3	31	31	0	0
	児島東	90.91	84.85	3	22	22	0	0
	倉 敷	98.77	83.79	4	82	85	0	3
	倉敷中央	75.93	74.07	3	17	18	3	1
	倉敷東	97.56	86.16	3	41	41	4	0
	倉敷南	92.69	70.49	4	65	65	5	0
	倉敷水島	81.82	70.11	4	27	27	0	0
	倉敷瀬戸内	92.38	81.75	3	34	35	3	1
計 (8)	87.76	76.27		319	324	15	5	
第8グループ	真 庭	84.14	75.64	3	34	33	0	-1
	美 作	83.84	82.65	3	36	35	1	-1
	津 山	78.67	65.42	4	88	89	3	1
	津山中央	82.29	73.96	4	26	26	3	0
	津山西	85.16	81.10	4	32	33	4	1
計 (5)	82.82	75.75		216	216	11	0	
第9グループ	赤 磐	73.33	66.10	3	21	21	0	0
	備 前	70.97	61.47	4	62	62	7	0
	岡 山	89.36	71.07	4	109	113	0	4
	岡山東	88.04	81.68	4	85	86	0	1
	岡山北西	92.31	82.39	3	50	49	4	-1
	岡山後楽園	86.82	75.91	4	54	54	0	0
計 (6)	83.47	73.10		381	385	11	4	
第10グループ	岡山旭川	74.11	71.43	4	28	29	1	1
	岡山中央	84.72	73.57	4	43	43	4	0
	岡山北	88.64	78.79	3	43	44	0	1
	岡山南	79.91	76.20	3	157	162	15	5
	玉 野	85.71	81.71	5	34	35	0	1
	牛 窓	85.71	85.71	3	7	7	0	0
計 (6)	83.13	77.90		312	320	20	8	
第11グループ	岡山備南	83.06	76.42	4	34	34	4	0
	岡 山 城	95.00	87.50	3	26	27	3	1
	岡山岡南	88.51	75.86	3	29	31	4	2
	岡山丸の内	82.95	71.09	4	33	33	2	0
	岡 山 西	88.40	74.73	3	77	77	6	0
	岡山西南	89.86	81.86	4	57	58	4	1
計 (6)	87.96	77.91		256	260	23	4	

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,057名	
8月末日会員数	3,110名	
内 女性会員数	159名	
純増	53名	
8月出席率	Make-up後	86.32%
	ホームクラブ	75.82%

表紙説明 アメデオ・モディリアーニ (1884～1920) 《ジャンヌ・エビュテルヌの肖像》 1919年 油彩・画布 92.3×54.5 cm
 二つの世界大戦の間、世界各地から集った画家たちが多様な精華を咲かせた「エコール・ド・パリ」。極貧生活のなかで自らのスタイルを模索する芸術家たちは、ある者は成功し、ある者は夢破れ、またある者はその短い生を終える。様々なドラマの中でもモディリアーニとその妻ジャンヌ・エビュテルヌの恋愛と悲劇は世に広く知られる。
 イタリアからやってきたモディリアーニは、同じ画学生のジャンヌを知り、やがて二人は深く愛し合う。しかし貧苦と無理な制作がたたってモディリアーニは若くしてこの世を去るが、その直後にジャンヌもまたアパートの窓から身を投げ愛する人の後を追う。この時彼女は二人目の子どもを身籠っていたのである。

国際ロータリー第2690地区
2012-2013年度地区 テーマ

「tsu ku su」

— 家庭人として 社会人として 日本人として —



国際ロータリー第2690地区 2012-2013年度 ガバナー
森田 昭一郎

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館3F
TEL 086-421-2690 FAX 086-421-2691
E-mail: info@rid2690.gr.jp